

令和3年6月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 6月定例会

2 開 催 日 時

令和3年6月9日（水） 8時30分開会 9時20分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3階第1委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤教育長職務代理者（委員）、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

小柳教育部長、青木教育次長兼教育総務課長、中島学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、松隈生涯学習課長兼図書館長、日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石教育総務課長補佐兼総務係長、久山生涯学習課長補佐、豊増生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、辻教育総務課教育支援係長、長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

2人

8 経 過 報 告

5月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

5月定例会の議事録承認

【承認】

10 協議報告事項

(1) 令和2年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書(自己評価案等)について

11 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

12 次回会議予定

教育委員会7月定例会 令和3年7月14日(水)9時00分から

○天野教育長

それでは皆さんおはようございます。例年6月1日にスタートします6月定例市議会でございますが、今年は6月4日からスタートとなっております。本日は、市議会が休会中でしたが、早朝よりお越しいただきました。6月11日に一般質問がスタートしますが、今回も教育委員会へたくさんの質問が出てきて、現在、各課が答弁書の対応などで奔走しているところでございます。5月は多くの新型コロナ感染者に係る濃厚接触者を出しましたけれども、6月に入って非常に落ち着いてきたと思っていたところですが、実は一昨日市内中学校の教職員から陽性反応が出たということで、教職員が担当していた部活動に所属する子供達11名と教職員12名に対して、濃厚接触者としてではなく接触者として本日9時からPCR検査をするということになっており、今日中に結果が出るだろうと思っております。これからはコロナ感染防止と熱中症対策を行う必要があります。先日は各小・中学校に注意喚起を促したところでございました。

本日は早朝よりお忙しい中、今年度の外部評価を引受けていただきます伊藤学長（福岡女学院大学）と徳田教授（久留米大学）にお越しいただいております。これから8月の定例教育委員会に向けて、令和2年度分の事務点検評価をしていただくということで、お二人にはお願いしたいと思っております。本日、傍聴者という形で来ていただいておりますけれども、定例会終了後に一言ずつご挨拶をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それではただいまより、6月定例教育委員会を開催いたします。まず、経過報告をお願いします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

（資料に基づき説明）

○天野教育長

ありがとうございます。それでは、経過報告について何かご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○天野教育長

ありがとうございます。それでは次に行きます。

次に議事録承認については、お手元にありますように別冊でまとめていただいておりますので、何かありましたら事務局の方をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○天野教育長

ありがとうございます。

今回は協議報告事項のみになっておりますので、令和2年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書について説明をお願いいたします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

（資料に基づき説明）

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○松隈生涯学習課長兼図書館長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

ありがとうございました。事務点検評価書の具体的な説明をしていただきましたが、皆様何かご意見、ご質問等ありましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。古澤委員。

○古澤委員

おはようございます。まずは学校教育課に1点質問です。先生達がスキルアップし、高度な技術で教えていただけるということは、生徒達にとっては素晴らしいことだろうと思っております。ただ、見方を変えれば、先生方は新しい事業を始めるごとに関係研修を受講しなければならないなど、多くの労力が必要になると思ひます。また、中島課長の説明にもありました、中学校で新しく通級指導教室が開設されたことについて、生徒や保護者には大変喜ばれていると思ひますが、一方で、先生方の負担が増えると思われまひます。こういった労働環境は、国が提言してしまひます職員の働き方改革の観点から見れば、逆行するとまでは言ひませんが、懸念材料がいくつもあるように感じまひます。何が言ひたいかというところ、例えば、先生方は関係研修を受けるよう指示されることに対して、抵抗感を感じる職員は実際のところ少ないと思ひます。研修によって、新しい正しい知識やスキルを習得してしまひれば、先生自身が教える際、子供達に対して教えやすいと思ひます。ただ、そういった目に見えないプレッシャーや仕事量又は負担感によって、メンタルを害されないよう対応をしっかりと行っただけでいいと思ひます。以上です。

○天野教育長

中島課長。

○中島学校教育課長

貴重なご意見ありがとうございます。先ほど、古澤委員がおっしゃっていただいたように、職員の働き方改革の推進が大きな課題としてございます。そういう中で、先生達がやりがいを持って職務に取り組めるような環境を作っていくことが大事になってくると思ひます。私の経験談になりますが、当時、私は中学校の社会科教員でした。電子黒板が導入された当時は、私自身使いこなせるか不安に思っただけでございました。しかし、電子黒板を実際に使ってみると、とても楽しく教えることが出来ました。子供達にとっても分かりやすく、自分自身も非常に手応えを感じました。私と同じように感じている先生だけではないと当然思ひますので、メンタルヘルスをフォローするなどの支援も行っただけでいいと思ひます。

以上です、ありがとうございました。

○天野教育長

他にご質問等ありますでしょうか。吉原委員。

○吉原委員

学校給食について質問させていただきます。2学期から開始される中学校完全給食化について、時間が無ひ中で大変な作業を行っただけでいいと思ひます。当然、アレルギー対応について不手際があつてはいいけませんので、慎重

に進めていただきたいと思います。

現在、小・中学校にてエピペンを持参している児童生徒が何人いるのか教えてください。

○天野教育長

犬丸課長。

○犬丸学校給食課長

申し訳ございません、エピペンを学校に持参している具体的な児童生徒数については手元に資料がありませんので、次回ご報告をさせていただきたいと思います。

○吉原委員

ニュースなどでアレルギーが原因で亡くなられた生徒に関する報道を聞いたりしますので、エピペンを使用しなければならない児童生徒については、特に注意していただきたいと思います。

あと1点要望がありまして、図書館についてですが、デリバリーという形で図書館の本の配送など、いろいろ考えて行っていると思います。小・中学校に関係ないかもしれませんが、幼少期における親子間の絵本の読み聞かせは、大人になっても心に残り続ける重要な教育だと思います。例えば、保育園や幼稚園関係に本を配達するということが可能であれば忙しい保護者さんでも借りやすいと思いますし、幼少期時代から絵本に触れさせて、心の教育・形成に繋がっていくのではないかと個人的に思いますので、是非、配送先を幼稚園等まで広げていただけたらと思います。

○天野教育長

松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

現在、移動図書館におきましては、市内のまちづくり推進センターを中心に回っておりましたが、コロナ禍によって、まちづくり推進センターに人が集まらないということで、昨年からは幼稚園、保育園及び高齢者施設等に移動図書館が出向きまして、本の貸出し等を実施しているところでございます。これについては、今後も続けて行いたいと思っております。また、幼稚園・保育園におきましてはアウトリーチ事業等も検討しておりましたが、コロナ禍によって、最終的に実施出来ていない状況ですので、お話し会の再開等に併せて、アウトリーチ事業も検討したいと考えております。

○天野教育長

他にご質問ご意見等ございませんか。副田委員。

○副田委員

他市のことで誠に申し訳ないのですが、今から10年弱前に伊万里市内の保育園で家読を推進しようということで、私自身が実際に指導を行いました。幼稚園や保育園でも家読を一緒に推進していくのであれば、本を通じて家庭や地域が一つになっていくのではないかと考えます。鳥栖市の場合も、幼稚園、保育園にて家読を一緒に進めていきたいと思います。

○天野教育長

松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

分かりました、参考にさせていただきます。

○天野教育長

他にご質問等ありますでしょうか。戸田委員。

○戸田委員

先ほどの社会教育のお話の中で、子供の読書活動の推進というのが大きなテーマとして挙げられました。この中で気になるのが、各学校の図書室と市立図書館等との連携についてですが、具体的にどの様な取組があるのかと思いましたが、事務局側で見ると、社会教育部門と学校教育部門に分かれていると思いますが、組織間における連携の難しさはあるのかもしれませんが、子供達にとっては学校で本を読む、市立図書館で本を読むことは同じことなので、その辺りの連携・位置づけというのは、鳥栖市の教育プランとして何かありますでしょうか。更に、学校教育の側へ更に寄せた場合、学校の図書館機能の充実、利活用の推進の必要性はあると思います。子供の読書活動の推進に併せて、学校の図書館機能との連携の話について少しご説明いただけないでしょうか。

○天野教育長

松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

現在、図書の貸出等につきましては、校長会を通じて貸出し等を実施しているところがございます。最近は、旭小学校の特別支援学級から相当数の貸出し依頼が来ているところがございます。また、今まで市立図書館の司書及び学校の司書との会議や協議が行われていませんでしたので、昨年度から一緒に話し合いの場を設けよう努めました。コロナ禍によって実施が出来ていないのが実情でございます。以上です。

○天野教育長

よろしいでしょうか。他にご質問ありますでしょうか。古澤委員。

○古澤委員

はい。学校給食について話したいと思います。今後行う予定のアレルギー面談についてですが、すばらしい取組かなと思っております。3年前だったと思いますが、市議会議員の方々とともに、給食センターで行われた研修会に私も参加をさせていただきました。その中でも、アレルギーを持っている子供さんの保護者の方から、教育委員会にてアレルギー対応を行って頂いてありがたいというお話を直に聞いております。そういう発言があったのがいまだに忘れられず、アレルギーを持っておられる子供さんの保護者の方は喜んでおられると思います。一方で、最初の間だけアレルギー4品目については使用しないという説明があったと思いますが、実際にはアレルギーを持たない児童生徒のほうが圧倒的に多いわけで、栄養価のあるバランスの良い学校給食を保護者から期待されているのではないかと思います。その辺りはどのように考えているのでしょうか。

○天野教育長

犬丸課長。

○犬丸学校給食課長

アレルギーの対応については、小学校給食の話になりますが、新学年を迎える4月から5月の間はアレルギーフリーの学校給食の提供をさせていただいております。今回の中学校完全給食についても、基本的には小学校給食と同様の対応を行って行く旨の説明をさせていただいているところでございます。しかし、アレルギー品目を抜いた状態で考えますと、献立のバリエーションが限られてくるころですが、栄養教諭や栄養士による工夫のもと、できるだけ多くの児童生徒に喜んで食べていただけるような内容で給食提供を行えるよう努めているところであります。実際、4月、5月にはアレルギーフリーの小学校給食の検食を行っておりますが、特に違和感なく食べることが出来るような内容で提供出来ていると思います。ただ、2ヵ月を超える期間になってくると、元々のメニュー数が限られているため、児童生徒からすると、メニューに飽きが出てくるかと思っておりますので、献立のバランスも考慮しながら、おおむね2ヵ月程度の期間でアレルギーフリー給食の対応を考えているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

古澤委員、よろしいでしょうか。ほかにご質問ご意見等ありますでしょうか。

家読の話が出ましたが、確か佐賀県は伊万里市からスタートしたと聞いておりまして、鳥栖市も今から5,6年前だったと思っておりますが、家読大会を行いまして、当時は大変盛り上がったのですが、改めて家読の取組を支援することで、子供の読書活動推進を図っていますので、今年度は再び家読に一つ焦点化して取り組んでいきたいと思っております。

エピペンにつきましては、各学校でも数名の子供たちが所有しているということで聞いておりまして、旭小学校は4月当初の職員研修でエピペンの使い方について研修するなど、アレルギーを持つ児童生徒を想定した研修などに取り組んでいるところです。今後も学校にはしっかりと指導していきたいと思っております。

ということで、この事務点検報告書をこれから外部評価員お二人に評価していただくということになりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それでは次に行きます。今後の予定について説明をお願いします。青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

ありがとうございます。他の委員の皆さまもご質問等ありますでしょうか。それではこれもちまして、教育委員会の6月定例会を終わります。皆様どうもありがとうございました。